

【資料の見方】

1 記載内容

「分野別計画及び成果」では、基本計画（令和5年度～令和8年度）に位置付けた30の施策体系に沿って、令和5年度における取組実績等を記載しています。施策に関する取組総括や懸案事項等と併せて、当該施策に係る基本計画事業の取組や今後の方向等を記載しています。

2 施策ごとの資料構成

行政評価における「施策・事務事業マネジメントシート」を活用しています。

【施策と関連するSDGsの目標（ゴール）】





施策と関連するSDGsの目標（ゴール）
SDGsの17の目標と169のターゲットの内容は、「参考資料 ①各施策とSDGsの17の目標との関係」を御参照ください。

施策・事務事業マネジメントシート【令和6年度】

1 施策の基本情報

施策名		01 災害に強いまちづくり
目的	対象	市
	意図	1 施策の基本情報 全ての項目について、基本計画書から引用しています。
施策の方向		一人一人が平常時か災害時に備えるようにするため、過去の災害の経験を生かした減災対策の充実、災害時の対応能力の強化及び復旧復興体制の整備について、自助・共助・公助の考えの下、個人、地域、事業者、行政のそれぞれの役割に応じた取組を推進します。

2-1 施策全体の考察①（施策の目的、方向に対する考察）

<p>施策の目的、方向に対する考察 ※取組総括、現状の課題認識（施策を取り巻く状況、国・都・他自治体の動向も含めた認識）や今後の取組の方向</p>
<p>2-1 施策全体の考察①(施策の目的, 方向に対する考察) 前年度の取組総括、現状の課題認識・懸案事項(施策を取り巻く状況、国・都・他自治体の動向も含めた認識)や今後の取組の方向を記載しています。</p>

2-2 施策全体の考察②（まちづくり指標の推移／考察）

まちづくり指標	単位	基準値 (基準年度)	実績値 (R5年度)	目標値 (目標年度)	指標の推移 (※)	考察 (目標達成の要因, 課題, 今後の取組の方向等)
災害時の情報を入力することができる市民の割合	%	87.1 令和4年度		92.0 令和8年度	・	
市の訓練に参加または訓練を実施した防災市民組織の割合	%	2-2 施策全体の考察②(まちづくり指標の推移/考察) ・各施策に設定したまちづくり指標の令和5年度の実績値や目標年度における目標値のほか、令和5年度における指標の推移等を記載しています。 ・目標達成の要因や課題、今後の取組の方向等、各指標の達成状況等に係る説明を記載しています。 ※一部の施策では、複数年ごとに実施される国などの調査にて指標の数値を把握している等の理由で、数値が未把握の指標があります。				
ローリングストックの考えによる備蓄食料等を実践している市民の割合	%					
緊急輸送道路の沿道建築物（補助対象建築物）の耐震化率	%					
新規入団者の入団から5年後の定着率	%	100 令和3年度		100 令和8年度	・	

※ ◎：目標達成 ○：目標値を未達成（前年度より向上した） ▼：目標値を未達成（前年度より低下した） ⇒：目標値を未達成（前年度と同じ又は前年度数値未把握） -：数値未把握（調査未実施など）

3 施策を構成する基本計画事業等の取組実績/今後の方向

■01-1 防災体制の強化

No	基本計画事業名	R 5 取組実績	R 5 取組説明 ※簡条書き	今後の方向	今後の取組の方向（説明） ※簡条書き (R6年度の取組及びR7年度の方向を中心に、R8年度は特筆する内容があれば記載)	
01	【重点①】 地域防災力の向上	<p>3 施策を構成する基本計画事業等の取組実績/今後の方向(基本計画事業に係る部分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 重点プロジェクトに該当する基本計画事業は、「基本計画事業名」欄にその旨を記載しています。 令和5年度の取組計画に対する進捗状況を記載しています。また、現在の取組状況を踏まえた今後の取組の方向を示すとともに、令和6年度の取組及び令和7年度の方向を中心に、説明を記載しています。 ※基本的取組毎に、基本計画事業を掲載しています。 				
		<p>○現状継続：現状のまま事務事業を継続していくもの。 ※事業の進捗や対象の自然増減に伴い事業内容・事業費等が増減するものを含む。</p> <p>○有効性改善：事務事業の有効性(成果向上やサービス向上)について、改善していく必要があるもの。</p> <p>○効率性改善：事務事業の効率性(効率的な事業の実施)について、改善していく必要があるもの。</p> <p>○財政面改善：事務事業の財政面(財源確保、経費縮減、負担の平準化)について、改善していく必要があるもの。</p> <p>○市民参加と協働の取組改善：事務事業における市民参加と協働の取組(機会・手法など)について、改善していく必要があるもの。</p>			<p>今後の方向</p> <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	<p>今後の取組の方向（説明） ※簡条書き (R6年度の取組及びR7年度の方向を中心に、R8年度は特筆する内容があれば記載)</p>
基本計画事業以外の主要な取組実績 ※簡条書き			今後の取組の方向（説明） ※簡条書き (R6年度の取組及びR7年度の方向を中心に、R8年度は特筆する内容があれば記載)			
① ② ③ ④ ⑤	<p>3 施策を構成する基本計画事業等の取組実績/今後の方向(基本計画事業以外の主要な取組実績)</p> <p>基本計画事業以外の主要な取組実績を記載しています。また、それらを踏まえ、令和6年度の取組及び令和7年度の方向を中心に、説明を記載しています。</p>					

4 施策の推進、成果向上の視点（4つの視点）を踏まえた令和5年度取組実績及び令和6年度以降の具体的な取組 ※簡条書き

デジタル技術の活用	共創のまちづくり
<p>デジタル技術の活用</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>	<p>共創のまちづくり</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>
<p>脱炭素社会の実現</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>	<p>フェーズフリー</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>

4 施策の推進、成果向上の視点(4つの視点)を踏まえた令和5年度取組実績及び令和6年度以降の具体的な取組

基本計画(令和5年度～令和8年度)に掲げた施策の推進、成果向上の視点(デジタル技術の活用、共創のまちづくり、脱炭素社会の実現、フェーズフリー)を踏まえた令和5年度取組実績及び令和6年度以降の取組について記載しています。